

一般財団法人 白神山地財団
第5回理事会 議事録（案）

日時：平成24年8月17日（金）6：00～
場所：白神山地財団事務局

1. 開会宣言
2. 理事長挨拶
3. 議長選出：定款第7章 第35条の1による。
4. 議事

1) 出席者の確認

〔出席者〕 理事：渋谷、門前、太田、大中

事務局：澁谷

〔欠席者〕 理事：清藤（洋）、清藤崇、齋藤

2) 定足数の確認：理事7名中 4名出席

3) 資料の確認

4) 議事録作成成人並びに署名人の指名

議事録作成成人： _____ 事務局

議事録署名人： _____ 門 前

議事録署名人： _____ 大 中

5) 協議事項

●第1号議案 第4回理事会議事録（案）承認の件：承認

【全理事】承認

●第2号議案 青森県議会商工労働観光エネルギー委員会調査（依頼）への対応の件：

【事務局】事務局が狭い事は事前に報告済みであるが、20数人の会議を行うにあたり会場は事務局でよいかご検討頂きたい。

【大中理事】事前質問等はあるのか

【事務局】依頼文のみである。但し、会議概要や写真を会報誌に掲載するとのことでした。

【大中理事】事務局で開催し、NPOの実態を見てもらうのも一つのである。

【太田理事】その時間帯（11時～正午）はエコリパ及びマルシェスタッフも仕事をしており、電話対応等でかなり騒々しい状態である。ましてパーテーションの設置で風通しも妨げられ、相当暑い状態となり会議環境としては好ましいとは思えない。

【理事長】かだれ横町ではどうか

【事務局】議員へのサービス等を考えれば、キャッスルホテル等が無難であると思う。

【太田理事】会議所等はどうか。財団からの参加者は？

【事務局】先方が16人であるため、失礼のない人数で対応するために評議員等への声掛けも行います。

【太田理事】時間帯を考えると食事はどうするのか。

【事務局】先方に問い合わせます。

【門前理事】議事進行や司会等の対応はどうするのか。

【事務局】資料では進行については次第に基づいて議会事務局が行うとしている。調査内容は財団の概要と観光資源としての白神山地の魅力の2点としている。

【太田理事】白神コミュニティファンド協議体で作成したプロモーションビデオを見せるのどうか。

【事務局】DVDはあるが、内容（文言）が古いものである。

【太田理事】紙の資料だけではなく、映像等を利用した紹介は良いと思う。

【大中理事】これを機に財団のプロモーションビデオを白神CFAの事業で作れないものか。

【理事長】制作会社から打診はあるが、制作額が大きい。さらに、内容を精査した上で短く質の良いものとしたい。

【太田理事】 様々な意見があるようなので、PR ビデオについては別の機会に協議する。

【理事長】 場所については人数も含めて太田理事に会議所に問い合わせる。提示する内容についてはどうするか。

【太田理事】 調査同行する各課への対応も盛り込む必要があるのだろう。

【門前理事】 行政が取組むらいことを財団が担うのだということを提示すればよいと思う。

● 第3号議案 白神山地世界自然遺産登録 20 周年記念事業への対応の件：

【事務局】 資料説明

【大中理事】 白神山地から流れ出る川（水）をキーワードに文化・産物等の掘り起こしを行う。それぞれの川の流域文化（上流から海）と隣り合う流域を知る事で、大きな面となり目指すランドデザインが見えてくるのではないか。

【事務局】 水の源は天然のダムとも言われる広大なブナ林である。目屋の文化をなぞると林業との関わりが深いことが解る。一村でもそうなのだから、他の町村を考えればその文化の深さはかなりのものになる。かつての林業は川との結びつきも強く、伐採した材は川で集積地まで運ばれていた。そういう多面的な見方のランドデザインを描くことが理想だと思う。

【理事長】 あらしい森林資源の使い方を考える 20 周年としたい。

【大中理事】 川を利用したツーリズムを考えれば川の数だけ出てくる。

【事務局】 白神ツーリズム連携推進事業についてはどのような対応をするのか。

【理事長】 正式な話があれば受託する方向で進めるものとする。

【門前理事】 本日、午後からの会議もあり、その内容も含めて考えたい。

● 話題提供：財団構成メンバーへの新規参画について 【太田理事】 より

【太田理事】 経緯：今後の財団構成メンバーに商工会議所（以下、会議所）と観光コンベンション協会（以下、観コン）の参加の可否について話があった。かつては財団の動きについて苦言も呈したが、観コンの清藤会長から 20 周年事業に対しては地元も応援をする。その際に会議所や観コンが加入することで、地元の銀行や企業も支援し易い環境となる。その為の会議や依頼等について検討して欲しい旨の話があった。会議所は工藤専務、観コンは今井専務が窓口となっている。皆さんの考えを聞きたい。

【大中理事】 参画の具体的な考えはあるのか。それは役員として迎えるということか。

【太田理事】 名前を連ねて行くことになるため、役員として入ることになると思う。財団を大きくしていくためには地元の理解が必要ということから来ている。さらに、公益を目指すのであれば尚更という考えもある。これは、相手からのアプローチであり損はないと考える。

【門前理事】 白神コミュニティファンド協議体から正式に参画を依頼した経緯もある。

【理事長】 観コンは様子見という形で保留の態度であった。その他銀行等も同様である。

【門前理事】 参画するには、協議体のメンバーに入る必要があるのではないか。

【太田理事】 協議体ではなくあくまでも財団への参画ということである。財団へ対する市長の考えも含めてという気もするが、詳しい中身までは解らない。

【理事長】 ある会合で観コンの清藤会長より財団の寄附金を集める話や観光事業についての話があった。

【太田理事】 以前銀行へ出向いた時も、会議所と観コンが組織に入れば動き易いような話をされた事もある。資金調達をし易い組織体としての環境整備は必要である。異論がなければ前向きな話として進める。

【全理事】 前向きに考えるということで一致。

5. 報告

1) 白神キッズキャンパス実行委員会報告：

2) 寄附拝受報告：

3) 白神山地世界自然遺産登録 20 周年会議（第2回）

8月17日（金）13:30～ 弘前市立観光館 門前理事、事務局澁谷出席

4) 同上関連プレシンゴ他打合せ

- 8月17日（金）15:00～（同上終了後）財団事務局 門前理事、事務局澁谷
- 5) 白神山地と赤石溪流の観光振興策検討講演会
- 8月31日（金）15:30～ 鱒ヶ沢町山村開発センター 理事長講演

6. 次回会議開催日の確認

第6回理事会 9月 18日（火） 6時 ～

7. 閉会宣言